

改定に伴う新体制の経過 ～自立支援に向けて～

ゆきよしクリニック

短時間通所リハビリテーション

理学療法士 山口 梨菜

平成30年度改定

自立支援介護

平成33年度改定

科学的介護

数値データで管理・評価がされる

**より成果 = 「卒業」「終了」
が求められる！**

コンセプト

「してもらおう」 リハビリから
「していく」 リハビリへ

午前通所リハビリ紹介

提供時間：10：00～11：30

定員：15名

現利用者総数：34名

時間	内容
～10：00	送迎・バイタル測定
10：00～	集団体操
10：20～	個別リハビリ
10：40～	マシントレーニング
11：00～	自主トレーニング
11：20～	記録・水分補給・送迎



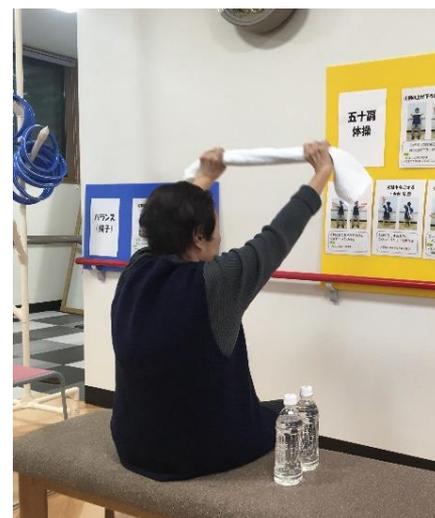
午後通所リハビリ紹介

提供時間：13：00～14：15
14：15～15：30

定員：30名

現利用者総数：88名

時間	内容
～13：00	送迎・バイタル測定
13：00～	個別リハビリ
13：20～	物理療法
13：40～	運動メニュー or 物理療法
14：00～	水分補給・送迎



卒業に向けての取り組み

- ①ケアマネージャー対象の研修会
(活動・参加型リハビリテーションの考え方について)
- ②リハビリテーション会議の実施
- ③ステップアップシートの作成

リハビリテーション会議とは

対象 要介護認定者

会議内容 本人、家族、サービス関係者が集まり、
リハビリテーション計画(目標設定・共有、
各サービスでの支援方法など)の**説明・同意**を行う

PT・OT・ST

Dr.

リハビリテーション
マネジメント加算Ⅱ
850単位/月(6月以内)
550単位/月(6月以上)

リハビリテーション
マネジメント加算Ⅲ
1120単位/月(6月以内)
800単位/月(6月以上)

今年度算定した利用者数：4名

ステップアップシートとは

目的

卒業を意識した目標設定
利用者と職員との目標認識のズレをなくするため

ゆきよしクリニック通所リハビリ
ステップアップシート(職員用)
記入日: 平成 年 月 日

利用者氏名: _____ 種 _____

《どのような姿になりたいか》

☆Step 1 (月頃) * 利用者様に伝えたこと *

☆Step 2 (月頃) * 利用者様に伝えたこと *

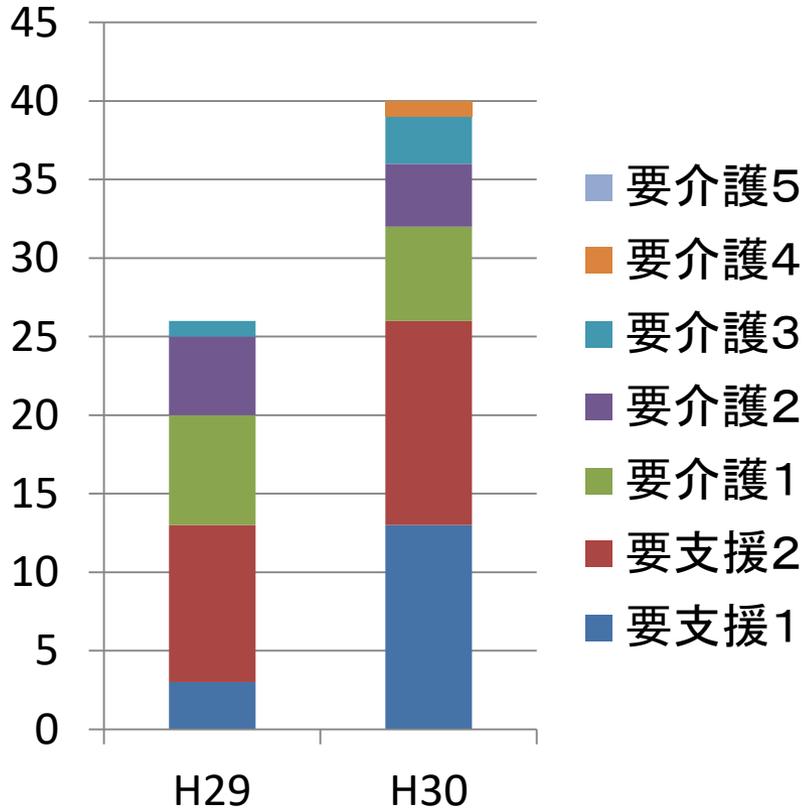
☆Step 3 (月頃) * 利用者様に伝えたこと *

☆Step 4 (月頃) * 利用者様に伝えたこと *

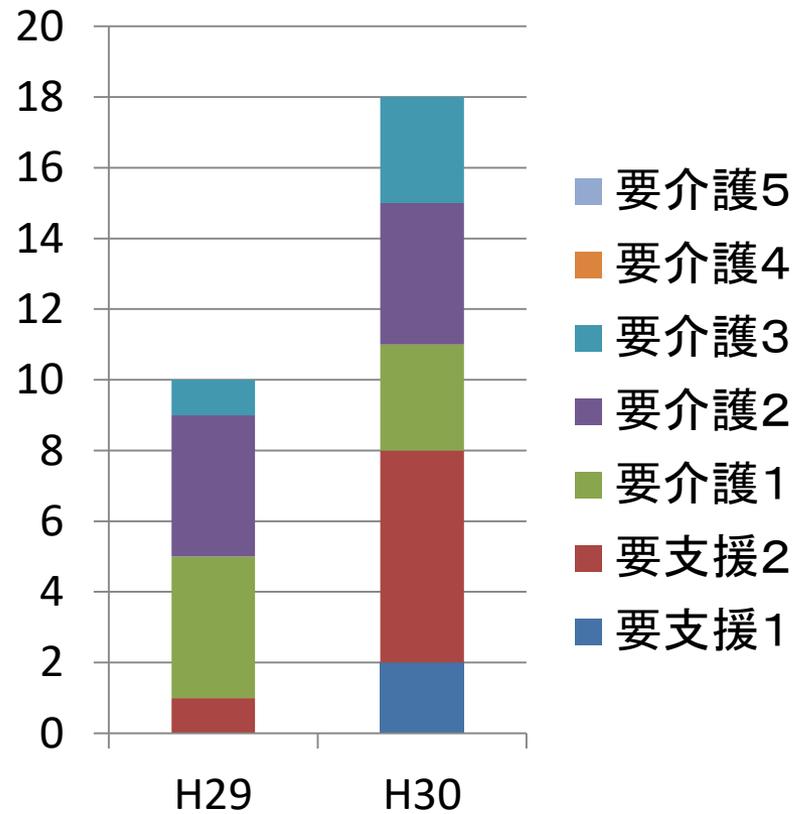
☆Step 5 (月頃) * 利用者様に伝えたこと *

* 職員間で共有すること *

卒業に関する現状①

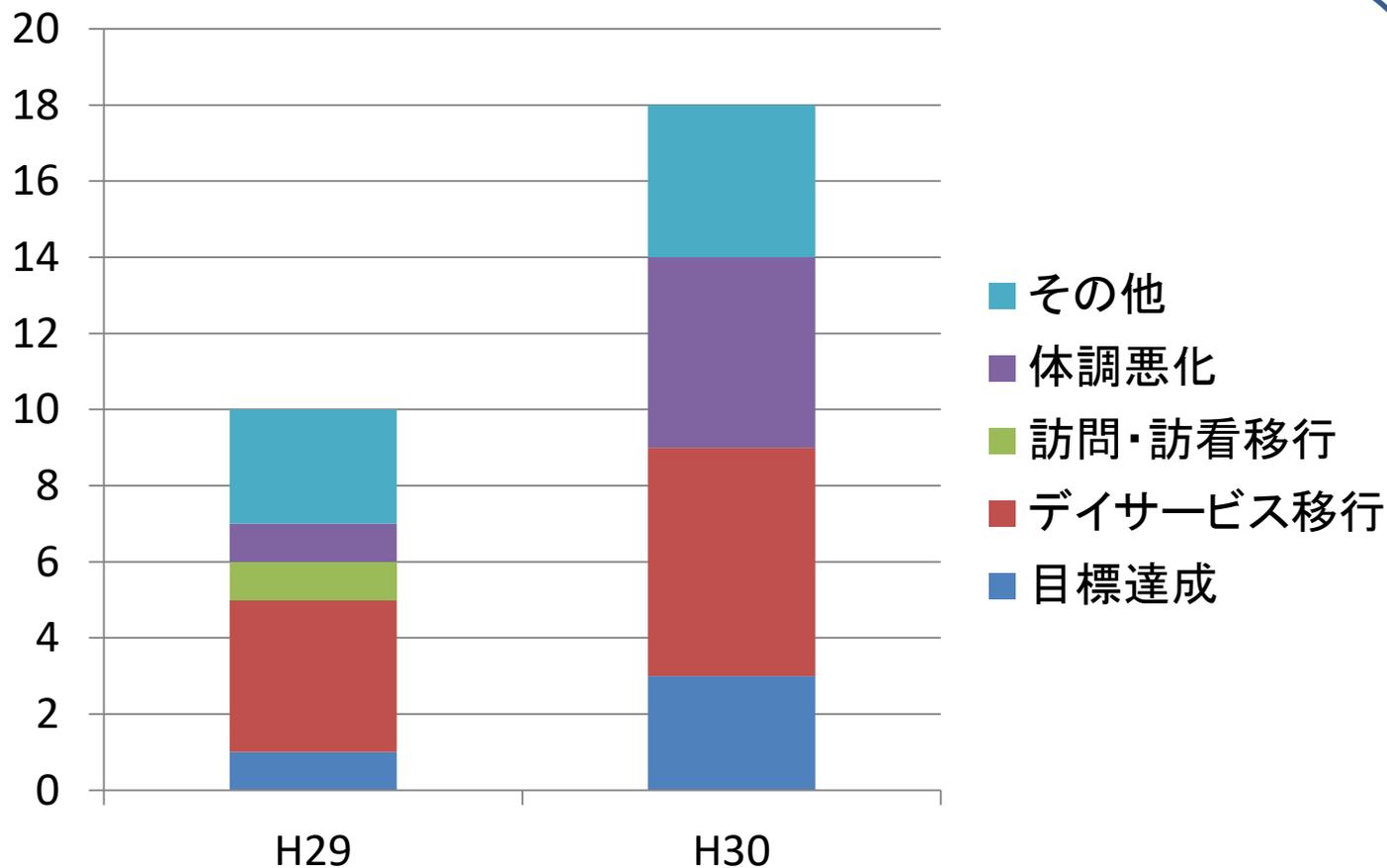


新規利用者数



卒業・終了者数

卒業に関する現状②



卒業・終了理由

現状の問題点・考察①

目標達成での卒業者が少ない
午前の卒業者が出ていない

現状

- ・ 卒業後の生活を不安に思っている。
- ・ 「卒業する」という意識が少ない。

改善策

- ・ 目標の明確化
- ・ 卒業の認識を増やす
- ・ 地域資源の情報提供

現状の問題点・考察②

リハマネ加算Ⅱ orⅢ算定者が少ない

現状

- ・ 訪問リハビリ兼務のセラピストが多く、リハ会議を行う時間がない。
- ・ 書類作成の時間が確保できない。

改善策

- ・ 書類の簡略化
- ・ 会議時間の短縮
- ・ 会議時間枠の確保

現状の問題点・考察③

利用者からの不満がある

現状

- ・リハビリは「してもらおう」ものという考えの方が多い。

改善策

「してあげる」リハビリ⇒現状維持あるいは能力低下へ…



利用者の意識改革

今後の課題

まずは

卒業・終了者を出すこと！



卒業の認識



スタッフの自信アップ！

利用者の意識の変化 = 全体の雰囲気の変化



より「していく」リハビリへ